



臨時レポート

2020年3月17日

ご投資家の皆様へ

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

## 弊社公募投資信託の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社の公募投資信託の基準価額が本日大きく下落しましたので、その要因等について下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 基準価額および下落率（前日比で5%以上下落したファンド）

（2020年3月17日現在）

ファンド名	基準価額（円）	前日比（円）	下落率
しんきんアジアETF株式ファンド	6,920	-775	-10.07%
しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	3,500	-236	-6.32%
しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年決算型）	6,628	-454	-6.41%

### 2. 主要指数

（2020年3月17日終値）

主要指数（国内）	終値	前日比	騰落率
日経平均株価（円）	17,011.53	+9.49	+0.06%
TOPIX（東証株価指数）	1,268.46	+32.12	+2.60%
東証REIT指数	1,530.43	-17.95	-1.16%

（2020年3月16日終値\*）

主要指数（海外）	終値	前日比	騰落率
NYダウ（ドル）（米国）	20,188.52	-2,997.10	-12.93%
S&P500種指数（米国）	2,386.13	-324.89	-11.98%
FTSE100指数（英国）	5,151.08	-215.03	-4.01%
ドイツDAX指数	8,742.25	-489.83	-5.31%
上海総合指数（中国）	2,789.25	-98.18	-3.40%
香港ハンセン指数	23,063.57	-969.34	-4.03%
バンコクSET指数（タイ）	1,046.08	-82.83	-7.34%

\* 基準価額への影響を考慮し、海外の主要指数は3月16日の終値を掲載しております。



(参考)

対顧客電信相場	3月17日	前営業日比	騰落率
米ドル (円) T T M	106.60円	-0.31円 (円高)	-0.29%
ユーロ (円) T T M	119.08円	+0.13円 (円安)	+0.11%

(出所) Bloomberg よりデータ取得し、しんきん投信作成

### 3. 下落の要因

#### (1) 米国

3月13日にはトランプ米大統領が、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて国家非常事態を宣言するとともに、最大500億ドルの連邦政府予算を検査や治療に充てると発表したことを好感し、NYダウが前日比1,985ドル上昇と、過去最大の上げ幅を記録しました。しかし、週明けの16日NYダウは2,997ドル安と過去最大の下げ幅を記録するなど、値動きの荒い展開になりました(図表1)。

15日に米連邦準備制度理事会(FRB)が、景気下振れを抑制するために今月2度目となる緊急利下げを実施し、リーマンショック以来のゼロ金利政策を復活させるとともに、米国債などを買う「量的緩和」の再開を決めましたが、新型コロナウイルスによる経済への打撃は避けられないとの見方が優勢になりました。また、トランプ米大統領が、最悪期が7月もしくは8月、さらにそれよりも遅い時期になる可能性があるとの見方を示したほか、米経済が景気後退に陥る可能性を示唆したことを受け、一段と投資家心理が悪化し、売りが売りを呼ぶ展開になりました。

投資家の不安心理を表すVIX指数はリーマンショック時の水準を上回り、本来は資金の逃避先となる金も一時約4か月ぶりの水準まで下落するなど、投資家心理が過度にリスク回避に傾く中、運用資産を売って現金化する動きが加速した格好です。

#### (2) 英国

新型コロナウイルスの感染拡大に対する不安が強く、幅広く売られ、英国のFT100種株価指数は2011年11月以来約8年4か月ぶりの安値となりました。また、ドイツのDAX指数も、約5年5か月ぶりの安値となりました(図表2)。16日にジョンソン首相は新型コロナウイルスへの対策について最高医療責任者と主任科学顧問と共に会見を行いました。投資家の不安を払拭することはできませんでした。新型コロナウイルスの影響で運航能力の大幅削減に追い込まれたインターナショナル・エアラインズ・グループやルフトハンザといった航空関連株が売られました。

#### (3) アジア

アジアの株式市場についても、欧米株式相場下落を受け軟調な展開となっています。リスク回避の流れから、アジア通貨を売り基軸通貨である米ドルを買う動きも重しとなっています。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向がみられる中国以上に、今後の増加が懸念される東南アジアなどでは、一部の国で出入国や外出の制限を行う動きもあり、経済活動が停滞することへの懸念が拡大しています。

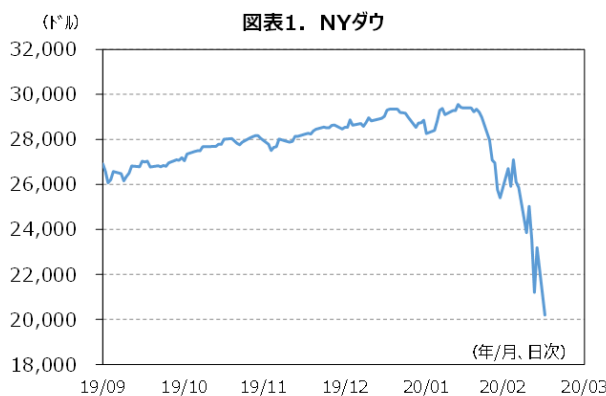


#### 4. 今後の展開

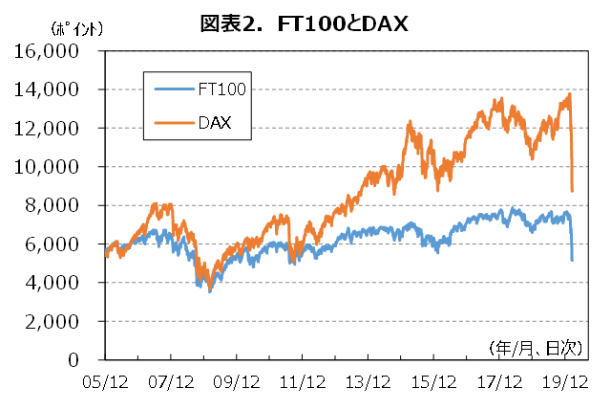
欧州中央銀行（ECB）は資金繰りに窮する企業を念頭にした銀行への資金供給や、金融市場の安定を目的に国債などを買い入れる量的緩和を拡大しました。FRB も大幅な利下げで、ゼロ金利政策を復活させました。日銀についても、中小企業の資金繰り策のほか、上場投資信託（ETF）および不動産投資信託（J-REIT）の購入目標を倍増させ、景気の下振れ防止や金融市場の安定化に動いています。主要7か国（G7）首脳も16日に緊急のテレビ会議を開き、「必要かつ十分な経済財政政策」に取り組むことで一致しました。

日米欧の中央銀行の緩和余地がなくなってきたことから、金融緩和策を期待して市場が荒れた展開になる催促相場は後退する可能性があります。相場の過度な乱高下が抑制され、VIX指数などが低下してくると、リスク回避の運用資産売りが弱まることも想定されます。

渡航制限などは重しになりますが、各国は感染抑制に本腰を入れて取り組む姿勢を強めており、感染拡大ペースに鈍化がみられると、安心感が広がることも想定されます。それまでは、財政出動などで景気下振れを支えることになりそうです。



(注) データは2020年3月16日現在  
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



(注) データは2020年3月16日現在  
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

以上



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。